

【重要】

受検種別について

2級建築施工管理技術検定試験は、受検種別が『建築』・『躯体』・『仕上げ』の3つに分かれています。次の点について、十分ご注意のうえお申込ください。

- 注1 平成29年度前期「学科試験のみ」受験は種別「建築」のみ実施します。「躯体」、「仕上げ」を希望の場合は後期試験にお申込ください。
- 注2 受検種別によって試験問題の出題内容が異なります。
- 注3 資格取得後に活用できる工事の種類(種別)が異なります。
- 注4 平成29年度前期の「学科試験のみ」受験で合格した者が、学科試験免除で「実地試験」を受験するには、建築一式工事の実務経験を積む必要があります。種別「躯体」「仕上げ」の実務経験を積んだ場合、学科試験免除とはなりません。
- 注5 実地試験(「学科・実地試験」を含む)については、受験しようとする受検種別と、実務経験の工事種別が異なる場合は、受験できません。

[下表に○印を付した工事で資格を生かせます]

		受検種別		
		建築	躯体	仕上げ
工事 の 種 類	建築一式工事	○		
	大工工事		○	○
	左官工事			○
	とび・土工・コンクリート工事		○	
	石工事			○
	屋根工事			○
	タイル・れんが・ブロック工事		○	○
	鋼構造物工事		○	
	鉄筋工事		○	
	板金工事			○
	ガラス工事			○
	塗装工事			○
	防水工事			○
	内装仕上工事			○
	熱絶縁工事			○
建具工事			○	
解体工事	○	○		

(参考)

